

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2018～2019 年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日 会 長 新井 清太 第2586例会 2019/ 1/21
例会場：パレスホテル大宮 幹 事 新藤 栄介 発 行 日 2019/ 1/28
例会日：月曜日 12:30～13:30 公 共 イ メ ー ジ 週 報 当 番 川井 理砂子
向上委員会 川井 理砂子

会 長 あ い さ つ

「職業奉仕月間」

会長 新井 清太



先々週の新年初例会はご参加ありがとうございました。お陰様で本年も素晴らしいスタートを切ることが出来ました。そして今日は、ぶぎん地域経済研究所専務の土田浩様、昨年に引き続きお越し下さり誠にありがとうございます。後ほど卓話をどうぞ宜しくお願い致します。また、遠く下関から下関西ロータリークラブの林一徳様ようこそお越し下さいました。

他地区のビジターの方をお迎えできて大変光栄に思います。

そして、後ほど次年度青少年交換派遣候補生の小船さんがいらして派遣先が決定したことの報告をして頂けることになっています。

埼玉栄のインターアクトですが、吹奏楽部の細田さんという生徒さんが3月に訪韓することが急遽決まりました。あわせて2月の韓国訪日団等につきましては、横溝委員長より詳細をご報告いただきます。

もうひとつ、先週から小木曾エレクトを団長として、ラオスのラオ・フレンズ小児病院へ国際奉仕部門のメンバーを中心に10名が出発しており、国際奉仕及びラオ・フレンズ4周年の式典に参加いたしますので、後日の報告をお楽しみに！

では、本日もどうぞ宜しくお願い致します。

ロータリーの目的・4つのテスト

<本日のリーダー> 会員増強維持委員会
山本 教雄 会員

お客様紹介 染谷 義一 副会長

株式会社ぶぎん地域経済研究所

専務取締役 土田 浩 様

国際ロータリー第 2710 地区下関西ロータリークラブ

林 一徳 様

米山記念奨学生

ムハマド・ナジム・ムハマド・シュクリ 君

2018-19 年度青少年派遣候補生 小船 菜子 さん

〃

お母様

誕生日祝い 1月生まれ

次郎丸雄希(9日)、横溝一樹(13日)、森田孝和(19日)、中村雅之(20日)、大竹庄藏(21日)、久保 浩(26日)、吉田奉行(28日)、新見和男(29日)、志保達郎(30日)各会員



お誕生日、おめでとうございます！

ロータリーの旅を楽しもう！

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: <http://rc-omiya-west.com/>



お客様ごあいさつ

国際ロータリー第2710地区
下関西ロータリークラブ

林 一徳 様



仕事で浦和に参りましたので、大宮西RCさんにメーキャップさせていただきました。
下関といえば「ふぐ」ですが、ふぐの白子は1月末から2月が一番美味しい時期です。
下関においでの際は是非、ご連絡下さい。

幹事報告

幹事
新藤 栄介 会員



- ネームボックスに2月の例会予定表を入れさせていただきました。来月は例会開催日が変則的になりますのでご注意ください。
月曜の通常例会は4日と25日の二日だけです。
11日が建国記念日で祝日休会、18日がIM(インターシティミーティング)の振替休日となります。
2月14日(木)開催の第3・第4グループ合同IMの登録は本日が最終日です。
- ガバナー月信1月号が来ております。中川ガバナーと2770地区の12名のガバナー補佐の新年挨拶が掲載。13ページ新会員紹介に当クラブの石井敦会員、川崎春夫会員が載っています。
- 皆様の各テーブルに『ハイライトよねやま』を配布しております。どうぞお目通し下さい。当クラブの米山奨学生、ナジム君も3月には埼玉大学を卒業して社会人となります。例会への参加も残りあと2ヵ月です。どうぞ皆さん仲良くしてあげてください。
- 例会後に役員会がございます。役員の皆様はお残り下さい。

委員長報告

インターアクト委員会
委員長
横溝 一樹 会員



前回週報でもお伝えいたしましたが、日韓インターアクト交換留学として2月8日から13日の6日間、韓国青少年訪日団が来日します。
10日(日)は伊奈学園でのインターアクト協議会、12日(火)には青少年部門委員の方数名とともに埼玉栄高校への視察訪問を予定しております。
今回は引率教員の受け入れということでホームステイ等のお願いはございませんが、訪日団滞在中のご協力を会員皆様をお願い申し上げます。

退会ご挨拶

大川 正勝 会員



2/1付で山梨県の甲府に異動になります。
赴任先でもロータリーに入会予定です。
機会があれば、こちらのクラブにメーキャップしたいと思います。お世話になりました。

今後のご活躍を祈念いたします

2018-19年度 青少年派遣候補生 挨拶

小船 菜子 さん



派遣先がアメリカに決まりました。
英語で日本のことを伝えていけるよう頑張ります。

ロータリーの友の解説 1月号

公共イメージ向上委員会
関根 正也 会員



1月号は「職業奉仕月間」と言う事で「職業奉仕」の特集となっております。

【横組み】

P3 「バリー・ラシンRI会長メッセージ」
「職業奉仕」について掲載されております。
「職業奉仕」を定義する事は難しいが、説明する事は簡単である。仕事を通じてロータリーの理念を実践することが「職業奉仕」であると話されており、会長自身の経験談から説明されています。
具体的には、アメリカで医療機関の管理運営に携わり、母国に戻った時に、バハマの医療施設が時代遅れ、かつ不十分であり、必要な治療を受けるために海外に行かなければならない事も多かったようです。しかし、アメリカで培った経験で、他の医療関係者と違って変化を起こす事ができ、「母国の医療改善に自分のキャリアをささげる事で職業を奉仕に繋げられた」とお話されております。この事から、ロータリーが人生の一部になると、ロータリーの礎となった「力を合わせれば限界はない」と言うポール・ハリスの言葉が、自分の職業人としての人生にも当てはまると悟っ

たそうです。しかし、一人では近代的な医療をもたらすことは出来なかったとも振り返り、パートナーの医師、熱意あふれる職員全員の力が合わさり、変化を起こす事ができ、現実となったと、お話しされています。更に、ロータリーの創始者4名も普通の弁護士、鉱山技師、石炭商、洋服商であり、この様な多様な職業人が集った事が、ロータリーにとっての特別な強みになっている。この多様性は、職業分類の制度に表れているとの事です。また、ロータリーの例会に掛かる時間は週に1～2時間程ですが、ほとんどの方は、週の多くの時間を仕事に費やしています。この時間も同僚、従業員、地域にとって奉仕の機会、つまりインスピレーションの機会になると結んでおります。

P 7～P 17 「職業奉仕」の特集記事

私が個人的に気になった記事をご紹介します。

P 13 姫路RC 安平和彦会員の書籍のご紹介記事です。国際ロータリー第2590地区パストガバナー 高良（たから）明氏の著書『凡太の奉仕経営物語ーロータリー「奉仕の理念」を経営に生かすー』の紹介記事です。

昨年7月に刊行され、高良氏の考える「社会が真に求めるものをつかんで、己の使命により独自のものを創造し、これを世の中に奉仕していく。これが経営者の責務であり、生きがいであり、企業存続の要諦である」と言う考えの下、ロータリーの奉仕の理念を経営に生かし、企業が強くなり、企業存続の知恵となるポイントを物語風にまとめた460ページに及ぶ大著との事です。読者をロータリーの奉仕の核心にぐいぐい引き込んでくれるようです。私も、是非、読んでみたいと思います。

P 18～P 21 動物にまつわる活動「人と動物の優しい関係」の紹介記事が掲載されております。老若男女、国や地域、あらゆる垣根を越えて行動するのがロータリー。困っている対象がいたら、それが動物でも…人と動物の交流を助ける活動を取り上げています。

【縦組み】

P 4 国際ロータリー第2840地区の地区大会基調講演、「人を大切にする経営学会」会長・坂本光司氏の記事が掲載されております。

「日本でいちばん大切にしたい会社」と題し、「いい会社とは」についてお話しされています。いい会社とは…

- ・会社の真の目的・使命を果たすことを基軸に経営を実践している会社。

- ・関係するすべての人々が程度の差こそあれ、幸せを実感している会社。

- ・真の目的・使命が、関係する全ての人々の幸せを追及・実現することになっている会社。

- ・みんな、満足度やモチベーションが高く、手段

である業績や勝ち負けは追及しない会社。

と説明しております。

もう少し具体的には、企業は誰のものか…株主のもの、経営者のもの、社員のもの…いいえ、株主や経営者が居なければ企業は誕生しませんが、社員や顧客、更には取引先、仕入先がなければ、活動は一日たりとも成り立ちません。

更に、企業は全て、公共交通網、水道・電気・ガス等公共インフラを利用し、支援され、守られ存続しています。決して自分の力だけでは生きていけない。逆に、企業を誰かのものと見ず、「社会のもの」と見ているから、行政や公的機関が支援していると考えられます。企業経営では「企業は誰のものか」と言う考え方、見方によって盛衰を決定付けているそうです。

また、企業の成長・発展や業績向上、ライバル企業との勝ち負けは企業経営の目的ではなく、経営目的を正しく果たすための、手段であり、結果に過ぎないとまとめております。

そのための考え方として、「企業は五つの業からなる生命体」、従来の経営学と異なる「五方良しの経営学」を提唱されています。

P 17 「友愛の広場」のコーナー

和歌山城南RC・井手良明会員の投稿より「『友』42年間200円の価格据え置きに驚き!!」をご紹介します。私もこの記事を読み、初めて気付きましたが、「ロータリーの友」の定価は200円だそうです。縦組みの表紙の右下に小さく定価200円+消費税と書かれております。それも、1953年の創刊から42年間据置！創刊時が高かったのか？ 今が安いのか？

「ロータリーの友」事務局も財政が厳しいようですが、昨年、赤字が解消した様です。良かったです。

P 24 「ロータリーアットワーク」

全国のクラブでの活動紹介や活動の苦労話が沢山掲載されております。

P 24 大阪 池田くればRCで、昨年秋に創立35周年を記念し、大相撲秋巡業「池田くれば場所」を誘致されたとの事。1,600名の観客が相撲甚句、取り組みを堪能したそうです。クラブ全員で裏方に徹し、運営したとの事です。

P 27 埼玉 草加シティRCで、国際奉仕活動の一環として、タイへはしご付き消防車の寄贈と地元の草加八潮消防局の協力で技術支援を継続的に行っているそうです。

1月号は「職業奉仕月間」と言う事で「職業奉仕」の特集、企業経営に関する内容の記事が多かったようです。ご清聴、ありがとうございました。

ゲスト卓話

株式会社ぶぎん地域経済研究所

専務取締役 土田 浩 様



昨年に引き続き、土田様に「2019年の経済展望」をテーマにお話いただきました。

1. 世界経済-2018前半までの状況

2012年から、新興国を中心に減速していたが、16年後半から回復に転じ、17年～18前半は世界的に強い成長

- ・米国経済への強い信頼(米国株価は史上最高値圏)。大規模財政刺激政策の効果も。金融政策は着実に正常化(リーマンショックからの完全回復)。
- ・中国では、EV、電子商取引などの「ニューエコノミー」が台頭。一方で、過剰投資・過剰債務問題。
- ・新興国・資源国も、世界経済好調や原油・資源高などで回復。

2. 世界経済-最近の状況変化

・世界同時拡大は終了

一中国は、米中貿易摩擦の影響もあり、明確に景気減速。欧州も、英国のEU離脱、フランスの反政府デモなど先行き一段と不透明化。米国も先行き見通し弱体化。

・米国金利上昇が、世界の株価下落、金利上昇、通貨下落などを通じて、各国景気にブレーキ。もともと、利上げ打ち止め感も。

・10月以降、原油価格が急落。

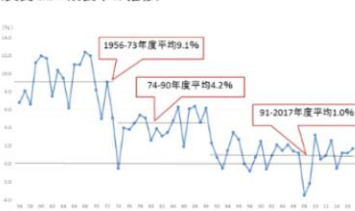
2019年の海外景気は減速の見込み
どの程度減速するか？ カギは上記3点

3. 日本の主な景気拡張期

谷	山	期間	通称
1958年 6月	1961年 12月	42ヵ月	岩戸景気
1962年 10月	1964年 10月	24ヵ月	オリンピック景気
1965年 10月	1970年 7月	57ヵ月	いざなぎ景気
1971年 12月	1973年 11月	23ヵ月	列島改造景気
1986年 11月	1991年 2月	51ヵ月	バブル景気
2002年 1月	2008年 2月	73ヵ月	？ (いざなぎ景気、無実感景気)
2012年 11月	—	<2018年 12月現在 73ヵ月>	？ (アベノミクス景気)

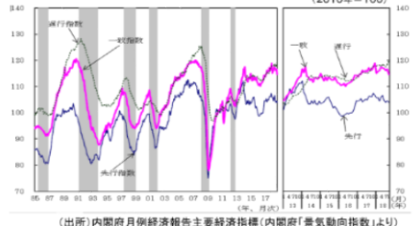
今次景気拡大は本年1月で、過去最長記録を更新
最近の海外経済減速が、日本に波及するかがポイント

4. 平均的な経済成長率(=経済の「実力」)の変化 (実質GDP成長率の推移)



「成長戦略」の目的は、経済の「実力」の維持・向上
(⇒「金融・財政政策」は、経済の「調子」の制御)

5. 景気変動(=経済の「調子」)



デフレの始まりー賃金が上がらなかった2000年代の景気回復

今次景気回復は2段ロケット、16年後半から再加速

6. 日本経済の展望 (1)輸出

<2016年後半以降大幅に増加>

- ・海外経済の拡大、為替相場の安定
- ・半導体(データセンター、車載向け)と機械類(半導体製造装置、工作機械)が、中国向け中心に急増

<本年夏場以降鈍り場面面に>

- ・中国向けの機械類などに頭打ちの兆し
- ・米中貿易摩擦により中国向け輸出に不透明感

海外景気、米中関係、英国EU離脱などが当面の注意点

7. 日本経済の展望 (2)海外金融市場からの影響

①株式市場

一年末NYダウ(23,327ドル)は、10月ピーク比▲13%。日経平均(20,014円)も、同▲18%。

②新興国の通貨・債務不安

一現状は限定的ながら、市場のセンチメント如何で瞬時に流動性危機のリスクも。

③為替市場

一現状は小動き。市場のリスクオフ、米国金利上昇打ち止め感も円高要因。

★日銀金融政策

一超緩和政策の出口模索から追加緩和策期待に？

8. 日本経済の展望 (3)設備投資

<過去5年にわたり高水準持続>

- ・企業収益の好調持続(特に大企業)
- ・①ソフトウェア、研究開発投資(新規事業・成長分野、AI・IoT、次世代自動車、②省力化・効率化投資、③訪日外国人需要取り込みなど多様に
- ・18年度内は堅調持続(東京オリ・パラ、都市再開発)

「第4次産業革命」に繋がるか？ 生産性向上を通じた成長力アップの起爆剤となるか？

19年度以降は、設備投資循環および東京オリ・パラ投資一巡から不透明

9. 日本経済の展望 (4)雇用・所得と個人消費

<人手不足の割には賃金上昇は緩やか>

- ・非正規労働者の賃金は、人手不足に伴い上昇している(過去と同じパターン)
- ・正規労働者の賃金は、ベア次第(ベアの決定要因は、インフレ率と名目労働生産性)

<個人消費は盛り上がり欠く>

- ①耐久消費財(車、家電)は、買い替え需要が回復
- ②日常生活の節約志向は続く(←情報化)が、ハレ消費・コト消費は堅調

所得増加→個人消費拡大の循環が明確化すれば力強い景気拡大に



有意義なお話をありがとうございました。